

江戸川区 中小企業景況調査

2025年10月～12月 概要版

| | | |
|------|-----------------|-----------|
| 調査対象 | 製造業 115社 | 卸売業 16社 |
| | 小売業 58社 | サービス業 46社 |
| | 建設業 45社 | 不動産業 22社 |
| | | 合計 302社 |
| 調査時期 | 2025年12月上旬 | |
| 調査方法 | 面接聴取法 | |
| 調査機関 | (一社)東京都信用金庫協会 | |
| 分析作成 | (株)サーベイリサーチセンター | |

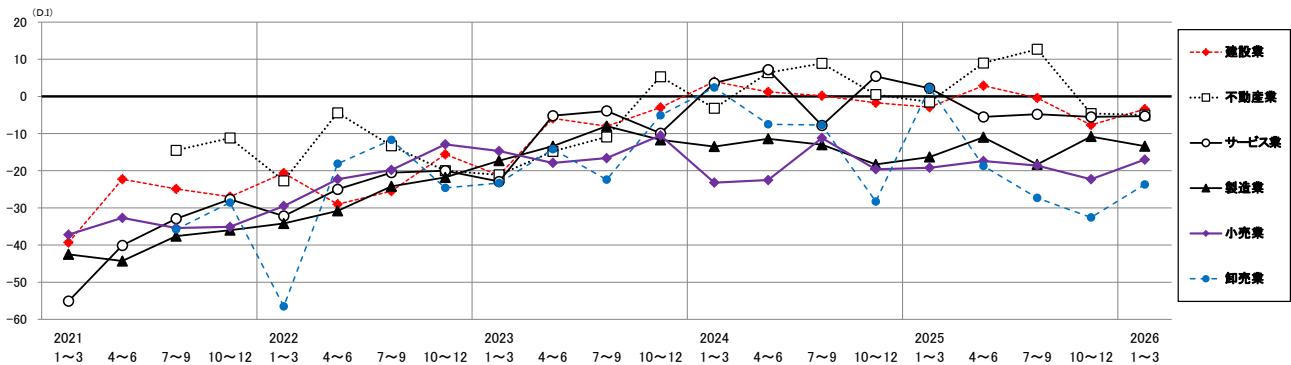
業況判断DIは前期(-13.2)から1.1ポイント上昇し-12.1となった。

～製造業が大幅に改善したが、不動産業で大幅に後退し水面下に落ち込んだのをはじめ、建設業と卸売業で大幅に悪化し、小売業も悪化を強めた。～

業況判断DI(季節調整済、「良い」企業割合-「悪い」企業割合)は-12.1(前期-13.2)と前期より1.1ポイント上昇した。業種別に見ると、製造業が大幅に改善したが、不動産業で大幅に後退し水面下に落ち込んだのをはじめ、建設業と卸売業で大幅に悪化し、小売業も悪化を強めた。

来期は、卸売業で大幅に改善し、小売業と建設業でも持ち直すが、製造業で下降を強めると見ている。

<江戸川区内中小企業の景況・6業種推移(D.I.)>



※D.I.(ディーアイ)とは

Diffusion Index(デフュージョン インデックス)の略。良い(又は「上昇」「増加」など)と答えた企業割合から、悪い(又は「下降」「減少」など)と答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて、良いと悪いのどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

江戸川区の企業倒産動向

2025年10～12月期の江戸川区の倒産件数は、前期比43.8%減の9件(前期16件)、負債総額は前期比35.9%減の4億67百万円(前期7億29百万円)でした。

業種別にみると、件数では“卸売業”と“小売業”がともに3件で最も多く、“建設業”“宿泊業、飲食サービス業”“その他”が1件ずつでした。負債総額は“卸売業”が2億8百万円で最も多く、次いで“小売業”(1億3百万円)でした。

| | 前年同期 2024年10～12月 | | 前期 2025年7～9月 | | 今期 2025年10～12月 | |
|-------------|---------------------|-------|-----------------|------|-------------------|------|
| | 件数 | 負債総額 | 件数 | 負債総額 | 件数 | 負債総額 |
| 製造業 | 3 | 488 | 1 | 30 | 0 | 0 |
| 卸売業 | 2 | 690 | 3 | 304 | 3 | 208 |
| 小売業 | 0 | 0 | 2 | 50 | 3 | 103 |
| サービス業 | 4 | 1,080 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 建設業 | 2 | 79 | 3 | 147 | 1 | 70 |
| 不動産業 | 0 | 0 | 1 | 40 | 0 | 0 |
| 情報通信業・運輸業 | 1 | 86 | 2 | 97 | 0 | 0 |
| 宿泊業、飲食サービス業 | 2 | 50 | 3 | 51 | 1 | 58 |
| その他 | 1 | 20 | 1 | 10 | 1 | 28 |
| 合計 | 15 | 2,493 | 16 | 729 | 9 | 467 |

業種別の景況動向

| | 前期 | 今期 | 来期予想 | 景況動向 |
|-------|-------|-------|-------|---|
| 製造業 | -18.3 | -10.8 | -13.4 | <p>業況は水面下ながらかなり持ち直した。売上額と受注残は前期並の減少が続いたが、収益は減益傾向が多少弱まった。価格面では、販売価格は再び上昇を強め、原材料価格は前期並の上昇幅で推移した。</p> <p>来期の業況は悪化傾向がわずかに強まると予想している。売上額は今期並の減少が続くが、受注残と収益は減少・減益傾向が若干弱まると見ている。</p> |
| | やや悪い | やや悪い | やや悪い | |
| 卸売業 | -27.3 | -32.6 | -23.7 | <p>業況は悪化幅がさらに拡大した。売上額は極端に減少し、収益も減益幅がやや拡大した。価格面では、販売価格と仕入価格は極端に上昇傾向が強まった。</p> <p>来期の業況は水面下ながら大幅に持ち直すと予想している。売上額と収益も大幅に改善すると見ている。</p> |
| | 悪い | とても悪い | 悪い | |
| 小売業 | -18.6 | -22.3 | -17.0 | <p>業況は悪化傾向が多少強まった。売上額と収益は若干改善した。価格面では、販売価格は大幅に上昇が弱まり、仕入価格も上昇が多少弱まった。</p> <p>来期の業況は悪化幅がやや縮小すると予想している。売上額は減少傾向が幾分弱まるが、収益は今期並の減益水準が続くと予想している。</p> |
| | 普通 | やや悪い | 普通 | |
| サービス業 | -4.8 | -5.5 | -5.3 | <p>業況は前期並の悪化幅で推移した。売上額も前期並の減少が続いたが、収益は減益傾向がやや強まった。価格面では、料金価格は上昇幅がかなり縮小し、材料価格も上昇傾向がわずかに弱まった。</p> <p>来期の業況は今期並の悪化幅で推移し、売上額も今期同様の減少が続くが、収益は減益傾向が強まると予想している。</p> |
| | やや良い | 普通 | やや良い | |
| 建設業 | -0.4 | -7.7 | -3.4 | <p>業況は悪化幅がかなり拡大した。売上額と施工高は大きく後退し減少に転じた。受注残は前期並の減少幅が続き、収益は再び減益傾向を大きく強めた。価格面では、請負価格は前期同様の上昇幅で推移し、材料価格はさらに上昇を強めた。</p> <p>来期の業況は幾分改善すると見ている。売上額は今期並の減少が続くが、受注残と施工高は持ち直して増加に転じると予想している。収益は減益傾向が弱まると見ている。</p> |
| | やや良い | やや良い | 普通 | |
| 不動産業 | 12.7 | -4.6 | -5.0 | <p>業況は大幅に後退し水面下に落込んだ。売上額は増加から減少に極端に転じ、収益も減益幅が大幅に拡大した。価格面では、販売価格と仕入価格は上昇傾向が大幅に弱まった。</p> <p>来期の業況は今期並の悪化幅で推移すると見ている。売上額は水面下ながら極端に改善し、収益も減益傾向が大幅に弱まると予想している。</p> |
| | とても良い | やや良い | やや良い | |

(参考) D.I.に基づく景況判断指標

| | とても良い | 良い | やや良い | 普通 | やや悪い | 悪い | とても悪い |
|-------------------|-------|-------|--------|---------|---------|---------|-------|
| 製造業 卸売業 建設業 | 20以上 | 19~10 | 9~0 | △1~△10 | △11~△20 | △21~△30 | △31以下 |
| 小売業 不動産業 | 10以上 | 9~0 | △1~△10 | △11~△20 | △21~△30 | △31~△40 | △41以下 |
| サービス業 | 15以上 | 14~5 | 4~△5 | △6~△15 | △16~△25 | △26~△35 | △36以下 |

2026年2月発行
江戸川区 産業経済部 経営支援課 調査計画係
TEL:03-5662-9014 (直通)